

平成 30 年 通常総会・月例会 開催報告

平成 30 年通常総会は、5 月 18 日午後 3 時 30 分より生涯学習センターで開催された。はじめに、福田代表理事より、開会の挨拶があり、続いて、来賓として出席頂いた足立区生涯学習センター平野昌暁所長より挨拶があった。審議に先立ち、司会者市川さんより本日の出席者 25 名、委任状数 4 名で会員 41 名の 3 分の 1 以上の参加があり本総会が成立している旨の報告があり議長に糸井さんが選任され、議事録署名人に神戸さん、安田さんの両名が指名された。

その後、議案の審議が行われ、平成 29 年度事業報告・活動報告および監査報告が承認され、30 年度事業計画および予算書が原案通り可決された。

続いて、30 年度の理事・監事選任について提案があり、提案通り可決された。なお、本会の理事・監事の任期は 2 年間であり、31 年度をもって任期終了となる旨報告があった。その後の臨時理事会で理事の役割分担および監事が決定したとの報告があった。(下記表参照)

変更された「定款」及び会員の「名簿」が配布され、5 時に 30 年総会は終了した。

(事務局 江川武男)

理事等の役割分担 (平成 30 年 7 月 1 日 ~ 平成 32 年 6 月 30 日)

代表理事：福田哲郎

学習支援部：佐々木善光 (副代表理事・部長) 糸井史郎 安田善英

広報部：金子勝治 (副代表理事・部長) 神戸 明

ボランティア活動推進部：篠原英也 (副代表理事・部長) 齊藤龍男 鈴木良夫
林 令子

事務局：江川武男(常務理事・局長) 市川道子

受託事業グループ：総括 福田哲郎 受託 PT リーダー 安田善英

監事：佐久間實 原田 進

NPO 法人設立 15 周年記念事業：実行委員長 小林 徹



平成 30 年 5 月 月例会報告

総会終了後、月例会として各部局長よりスケジュール等の報告がありました。

月例会終了後は恒例の懇親会が「日本海」北千住店で開催され、13 名の方が参加されました。

平成 30 年の通常総会も無事に終了し、季節の美味しいお惣菜とお酒で和やかな会話が交わされ、楽しい時間が過ぎました。皆様、本日はお疲れ様でした。

(ボランティア活動推進部)

歴史ドラマが教えてくれない 新「戦国時代」講座

戦国時代、領主より多くの“年貢”を得ていた者がいます。それはいったいどんな人たちなのでしょう。また戦国大名たちは意外なことで増収を図っていました。このほか民衆の暮らしぶりや江戸時代とはまるで違う戦国時代の土地制度などなど。歴史ドラマが取り上げない「戦国時代の裏」、それがわかればもっと歴史が面白くなります。あまり知られていない「戦国時代」の姿を徹底解説します。

講師：跡部 蛮（あとべ ばん）氏 歴史研究家/博士（文学）

日時：7月1日、8日、15日 毎回 日曜日 午後2時～4時

会場：足立区生涯学習センター 研修室4

講義内容：

- 第1回 「民衆」の暮らしと「戦国バブル経済」の実態
～戦国時代の民衆の暮らしと経済～
- 第2回 戦国大名と家臣たちの意外な「懐事情」
～戦国大名の収支決算～
- 第3回 戦国時代の「トリビア」



学びを創るボランティア養成講座

～ボランティア活動で創る”学び・仲間・自分”～

足立区が抱える地域の課題や高齢化による多様な区民のニーズを解決するため、自ら継続して学び、地域での学びを創る活動を広げていくための知識を身につけます。

会場：足立区生涯学習センター 研修室4

開催時間：毎回 午後2時～4時

開催日・講義内容および講師（下表参照）



	月 日	講義内容	講 師
1	7月7日(土)	ボランティアは美味しい ～楽しいボランタリーライフのすすめ～	興梠 寛氏 昭和女子大学 グローバルビジネス学部 教授
2	7月21日(土)	学びを創り出す方法とは	齊藤 ゆか氏 神奈川大学 人間科学部 教授
3	7月22日(日)	第1部：ボランティア活動事例紹介 第2部：足立区の生涯学習推進施策	大久保 邦子氏 文化ボランティアコーディネーター 濱田 良光氏 足立区地域のちから推進部 地域文化課長

講座運営スタッフへの参加をお待ちします。

申し込みは、あだち区民大学塾事務局 へ

電話・FAX 03-5813-3759（平日午後1時～5時）

E-Mail：shinohdy@s2.wh.qit.ne.jp

読んで、聞く「平家物語」



4月12日、19日、26日（各木曜日3日間）の講座は応募者56名、受講者51名、延べ127名。講師は足立区在住：石井清弘氏、受講者比率は男性対女性、およそ1：3でした。

1回目と2回目は石井講師が読んで場面を説明された後、講師と受講者が一緒に平家物語を読みました。1回目は「信連」「清水冠者」「篠原合戦実盛」「木曾最期」2回目は「坂落」「敦盛最期」「知章最期」「小宰相身投」「先帝身投」「内侍所都入」と盛りだくさんの内容を次々とこなしました。休憩時間も忘れるほど、講師の思い入れがあり熱心な講義でした。

1回目の前半はあまり知られていない人物でしたが、後半からは実盛、木曾、巴御前の話、2回目は有名な鴨越（坂落）の義経と敦盛最期、二位の尼と先帝の海への身投など平家滅亡の解説と読み下しは状況を思い浮かべながら一挙に読み進みました。3回目は入澤講師が体調不良で琵琶演奏ができず、急遽石井講師に読み

の講座を行って頂きました。「千手の前」「大原御幸」をみなさんと一緒に読み、後半は講師が用意された入澤美栄子氏による琵琶演奏のCDをお聞きしました。

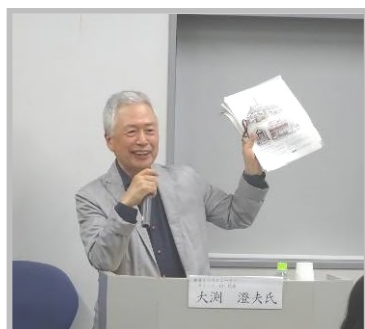
受講者のアンケートでは以下の声が寄せられました。

声を出して読むというのがとても良い、楽しかった。聞くだけだと眠くなりやすいが、緊張感があって時間のたつのが早かった。学生時代に戻ったようで、新鮮で脳トレになった。講師の熱意が伝わってきた。これで終わりにせず、別のパートもやって欲しい。少し量が多すぎた、もう少しゆっくり聞けるとよかった。などでした。

CDの演奏も平曲「平家物語」としての迫力があり聞き応えがありました。しみじみと「平家滅亡の場面」を聞くことができました。平家琵琶を楽しみに受講された方も多いかと思いますが、次の機会があればと思っています。

（林 令子）

大淵澄夫スケッチ講座・足立の風景再発見



5月8・15・22日（火曜日）午後2時～4時、3回にわたって講座が開催されました。受講者は延べ78名でした。講師は建築イラストレータの大淵澄夫氏で、アトリエ-0代表・保存建物の建築画記録を行っておられます。

スケッチのテーマは水彩画で銭湯「大黒湯」の建物を描くということでした。第1回目の講義は座学で、あだちの見どころである名所をあげながら昔と今の移り変わりなどをお話しされました。次にスケッチのポイントについての説明と、絵具や筆の選び方など、基本的なことを話されました。

第2回目、3回目は現地でのスケッチ制作でした。大黒湯の正面、東側部、西側部と、受講者が好きな角度から描くというやり方で、3つのグループに分かれて描きました。まず、絵を描く時、画用紙に鉛筆で何から描いていくか

が大切なことで、自分の目線が建物のどこにあるかをよく見て、そこから描いていくこと、それが大切なポイントだということでした。色塗りに入ると、初めに空の色を薄く塗ること、そして建物の下の部分を塗り、影を塗って行く。これが色塗りのポイントです。

第3回目の日は早めに研修室に戻り、作品の寸評を受けました。一人ひとりの作品に「メリハリをつけると良くなりますよ」「自転車を一台入れたのは湯屋に入っていることが想像できて良いですね」「人物は入れない方がいいです」など、丁寧に指導されました。

アンケートから「スケッチの基礎がとてもよく分かった」「スケッチの奥深さに感心した」「大黒湯の建物はとても難しかった」「先生のご指導が大変やさしくて良かった」「またの機会を希望します」等がありました。好天にめぐまれ、受講者にとって満足度の高かったスケッチ講座になったことと思います。



（佐野祝子）

特別展「人体—神秘への挑戦—」関連NHK文化講演会



4月29日(日)午後2時~3時半、生涯学習センター講堂において、「人体神秘への挑戦」が開催された。申込者220名、出席者196名、運営ボランティア参加者14名、講師は国立科学博物館副館長兼人類研究部長の篠田謙一氏、篠田氏はDNA分析による日本人起源論第一人者でもある。特別展「人体神秘への挑戦」は3月13日(火)から6月17日(日)まで国立科学博物館で開催されています。

まず「人体展の見どころ」について、解剖図を見ながらパワーポイントで解説があった。

- 第一章 「人体理解の歴史を振り返る」
- 第二章 「人体の構造と働きについての最先端の知識」
- 第三章 「将来人間は、人体理解を通してどこに向かうのか」

これまでは人体の成り立ちについて、脳と脊髄が体じゅうを支配し命令していると考えられていたが、最近ではそれだけではなく、臓器同志が情報交換しながら、体を維持していることがわかってきた。人体の構造と機能については、「形が機能を決定している」ことを、心臓を例に説明している。

ルネサンス期以降の、レオナルド・ダ・ヴィンチ、アンドレアス・ヴェサリウス、ウィリアム・ハーヴェイ、マルチェロ・マルビギらの探究の歴史と功績の紹介があった。

私達が人間の体を理解するにあたり、今、遺伝子の研究が進んでいる。ライオンとヒョウのハイブリッドのレオポンの例や縄文人の遺伝子から顔相復元の事例を通し、今後の社会における、人間改造と課題にまで話は及んだ。

参加者は、ユーモアを混じえたわかりやすい講師の説明に、真剣に耳を傾け、しばし体内の神秘の世界に引き込まれていたようだ。最後に盛大な拍手が送られていた。



(小田野幸子)

平成29年度あだち区民大学塾「講座実施報告書」完成



平成29年度あだち区民大学塾の「講座実施報告書」が完成し、会員の皆様には、5月の運営委員会及び「楽学ニュース」発送の時に同封しております。5月11日、足立区役所地域文化課に持参し、濱田課長、関口係長、三ヶ島主任に講座の実施数・受講者数・内容そして「楽学の会」の活動内容について、改めて説明をしました。また、報告書の作成に当たり、担当者はもちろん、多くの会員に参加していただき、立派な報告書が出来上がりました。ありがとうございました。



(事務局 江川武男)

5月 運営委員会報告（5月1日）

1. 代表挨拶：報告および提案

- (1) あだち区民大学塾の29年度講座実施報告書は皆様の協力で完成しました。
29年度は18講座実施しました。編集委員の皆さんでの編集、校正頂き、4/24の製本作業には多数の会員が参加頂き無事完成いたしました。お疲れ様でした。
楽学の会の大学塾講座への情熱と企画・運営力の成果です。関連部署に配布してPRしていきたいと思いをします。
- (2) あだち区民大学塾は30年度がスタートしました。4月は「国民生活から見た日本経済入門」講座と「読んで聞く「平家物語」講座が開催され受講者も多く、順調なスタートをきりました。
30年度は現在17講座を企画しています。今年度は 郷土博物館、足立史談会との協創講座他足立区関連講座：足立の環境・川ゴミ講座、銭湯講座、生涯学習ボランティア養成講座を提供していきます。今年も区民ニーズを反映した講座を提供し、受講者に満足頂けるようにしたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。
- (3) 4月より足立区地域文化課の体制が変わり、4月6日に新任の濱田課長、関口係長へ挨拶と楽学の会の事業、活動内容、あだち区民大学塾のしくみ、30年度講座を説明に参りました。
濱田課長には7月開催の「学びを創るボランティア養成講座」の講師をお願いしました。本講座は5/25のあだち広報で別枠で講座案内掲載頂きます。
今後地域文化課との連携を進めて行きます。6月月例会では濱田課長に30年度施策を講演頂きます。終了後は新任課長・係長にも参加頂き懇親を深めたいと思います。
- (4) 30年度総会を5月18日（金）に開催いたします。
29年度の事業報告・収支報告と30年度の事業計画、予算、理事、監事人選について提案、審議、決議いたします。会員の皆様のご出席をお願いいたします。

2. 議事

- (1) 情報交換
 - ・総会(5/18開催)にむけて 理事会：5/1開催 監査会：4/26 済
 - ・29年度大学塾講座実施報告書作成、4/24製本完了、区に持参5/11
 - ・あだち区民大学塾 運営マニュアル改訂第3版、会員に配布済
- (2) 月例会開催について
 - ・4月月例会 4/10 キッコーマン野田工場見学と清水公園お花見 ポラ部より報告
 - ・5月 5/18 総会・月例会
- (3) あだち区民大学塾（検討会議・企画会議・地域協働講座）
 - ・「日本経済入門」 応募者 27名、受講者 23名
 - ・「平家物語」 応募者 56名、受講者 51名
 - ・「スケッチ講座」 5/8 15 22 応募者 32名
 - ・「平家物語」絵巻 5/13 20 27 応募者 53名 抽選 41名
- (4) 受託事業について
 - ・首都大学東京 人間健康科学研究科 北 一郎教授 日程等調整中
- (5) NPO設立15周年記念事業について
 - ・実行委員長小林より報告：5/7、第3回目記念誌について打合せ
 - ・30年予算、記念誌費用15万円計上
- (6) 総会について
 - ・配布資料に基づき、事務局より報告 本日の理事会にて最終承認の予定
- (7) 各部局・PTからの報告および提案（省略）

「社会教育」2018年5月号 記事紹介

当会顧問・大久保邦子氏が寄稿されています。

「人生100年時代の学びと社会参加」

時代のさきがけとしての文化ボランティア
-社会教育施設での活動を通して-

「社会教育」は大学塾事務局のロッカーに保管してあります。



生涯学習センター 講座情報

講座名：東京未来大学共催公開講座
NHK 朝の情報番組でも放映！
シナリオでモヤモヤ解消

日時：7月28日(土)午後2時～3時30分
対象：16歳以上の方
会場：東京未来大学(千住曙町34-12)
B棟1階121教室
受講料：1,000円(一律)
定員：30名(事前申込先着順)
講師：安田 伊佐男氏
東京未来大学キャリアセンター特任教授
新井 一樹氏(株)シナリオ・センター『一億人のシナリオ。』プロジェクト統括
内容：「ひよっこ」「おんな城主 直虎」等の脚本家を輩出するシナリオ・センターが、シナリオを書く体験を通して、日常を気持ちよく過ごすポイントを紹介します！

講座名：伝統唄 相撲甚句体験教室
日時：6月22日・29日 各土曜日
午後1時30分～3時 2日制
対象：16歳以上の方
会場：足立区生涯学習センター5階
ビデオスタジオ
受講料：1,000円(一律)
定員：10名(事前申込先着順)
講師：林 太一氏 東京足立相撲甚句会 主宰
内容：大相撲の巡業などで、土俵上から披露される伝統歌「相撲甚句」。その伝統ある歌の歴史や内容を学び、一緒に唄いましょう。お腹から声を出すことは健康にもいいですよ。

申し込みは、生涯学習センターへ
電話(03-5813-3730)または直接窓口へ

7月「月例会」は暑気払い

楽学の会「暑気払い」を下記の通り開催します。皆様の積極的な参加をお願い致します。日頃からご支援をいただいております顧問の方々、後援会員、賛助会員の皆様方も是非ご参加下さいますようご案内申し上げます。

日時：平成30年7月13日(金)午後6時～
場所：足立区生涯学習センター 7階
レストラン「さくら」

参加費：3,000円

当日キャンセル不可

事前連絡なく欠席の場合は全額負担

申込：ボランティア活動推進部 篠原英也
E-mail：shinohdy@s2.wh.git.ne.jp

FAX：03-5813-3759(事務局WR)

締切：7月9日(月)(欠席は事前連絡要)

(ボランティア活動推進部)

楽学インフォメーション 会合のお知らせ

運営委員会

6月1日(金)午後3時～5時 研修室4
月例会
6月15日(金)午後3時半～5時 研修室4
学習支援部
6月8日(金)午後2時～4時 ワークルーム
ボランティア活動推進部
6月8日(金)午後2時～4時 ワークルーム
広報部
6月6日(水)午後2時～4時 メール会議
6月22日(金)午後2時～4時 ワークルーム
6月25日(月)午後2時～4時 ワークルーム
事務局
6月4日(月)午後2時～4時 ワークルーム
6月12日(火)午後2時～4時 ワークルーム
大学塾講座検討会議
6月15日(金)午後2時～3時半 研修室4
大学塾講座企画会議
6月1日(金)午後1時半～3時 研修室4
生涯学習センター 休館日
6月11日(月)

お問い合わせ&ご意見等

「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 江川武男 電話：090-3105-8140
E-Mail：takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp

「ホームページ」のご案内とお問合せ
<http://gakugaku.main.jp/>
広報部 神戸 明 電話：03-3606-0058
E-Mail：kambe.akira2@gmail.com

編集後記

今年も「地球環境フェア2018」が19・20日の両日、足立区役所で開催されました。両日ともに天候に恵まれ、15,000人が来場されました。近年、国内外の各地域で起こっている様々な異変などから環境に対する関心が高まってきた証とも言えます。当会としては今年度も参加している団体の体験型ブースの一角において、「楽学の会」のパネル及びチラシなどを置いて、活動の紹介と「あだち区民大学塾」講座のご案内を致しました。

(広報部)

